

全国の町家や民家維持・保存活動をされる職方の相互支援組織

# 作事組全国協議会 総会 2016in 姫路

大会開催のご案内



主催：作事組全国協議会、姫路・町家再生塾

## はじめに

2008 年作事組全国協議会の設立準備会を姫路で行いました。その後京都で設立総会が開催され、2011 年福岡県八女、2012 年石川県金沢、2014 年京都府宮津と、二年毎に各地で盛大な大会が催されてきました。そして、2016 年再び姫路で作事組全国協議会の大会を開催し、各地で活動されている多くの方々をお招きすることになりました。

世界遺産姫路城のお膝元ながら城下町再生の活動はまだまだ小さな姫路ですが、全国の同胞の強い意志と熱い情熱を戴いて、有意義な大会にしたいと決意しています。皆様のご協力ご支援を心よりお願い申し上げます。

作事組全国協議会総会 2016in 姫路 実行委員長 志賀 咲穂  
姫路・町家再生塾 塾長 山田 克幸



## 「作事組全国協議会」について

---

町家や民家あるいは古い町並みが脚光を浴び、伝統的な暮らしが見直されています。しかし一方で、日々多くの町家や民家が姿を消し、歴史的町並みが失われていきます。仮に失われないまでも、不適切な手入れや改修で、町家本来の構造や機能が損なわれ、景観的破綻を来します。



その原因はさまざまですが、作り手の問題としては大きく三つに分かれると思います。一つは法律と基準、二つには資材流通や経済、そして三つには技の再生・習得・継承です。

風土と文化が育んだ町家や民家ないし町並みは地域ごとの特色があり、構法や生産組織も同様です。従って上記の問題の解決は地域が担うべきものです。しかし地域を否定し全国一律の制度を求めたのが近代であり、地域の努力では克服できない課題も多いはずです。とりわけ建築基準法の既存不適格の問題は共通です（重・伝・建地区であってもその外側は同様です）。

各地域の地道な活動が成果をあげつつある今、次の段階の課題を克服するために、連携と協働が求められています。また各地域の活動の成果を共有することが、各地域の活動をよりの確かつ実効性のあるものにするはずです。それらを果たす場として「作事組全国協議会」を設立する事となりました。

### ■ 会の目的

- ・ 情報交換
- ・ 活動の支援
- ・ 改修による町家等の保全・再生の普及
- ・ 国や行政に対する施策提言
- ・ 伝統構法の法・規準的枠組みの提言

（作事組全国協議会設立趣意より）

## 作事組全国協議会 総会 2016 in 姫路

開催日時 2016 年 10 月 29 日(土) ～ 30 日(日)

開催場所 姫路市 姫路文学館、県立大学新在家講堂ほか

### めんめら いえ わえら 大会テーマ わがまちの住文化は職人が守る

グローバルな社会変化の中で、地域が持ち続けてきた豊かな文化や技術が忘れ去られようとしています。しかし、グローバルだからこそ地域の独自さが輝かなければなりませんし、エコな時代だからこそそれぞれの地域に適った技術が省みられるべきです。

町家や民家の良さは、地域にある様々な職方の職人たちの絶え間ない努力と研究によって支えられてきました。住まいの安全安心のためには技術革新が必要なことは言うまでもありませんが、伝統に培われた職人の技と匠を活かすことが、いまこそ地域の住文化を守るために不可欠です。

### シンポジウム「無口な職人たちが、今あえて話すこと」

日時/29 日(土) 13 : 30 開場 14 : 00 開演 会場/姫路文学館

無口で偏屈なものと恐れられてきた職人。真の心は全く違うのですよ。より良いものを求めて、手の技に一心に打ち込めば人間誰しも無口になります。しかし、本物を知らない人がこんなに増えてきたら、どうして喋らずに済むでしょうか。

大工、左官、瓦職人、板金職人、建具職人、水道、電気の職人・・・様々な職方の職人さんが、本物の日本の家を造るために、今何を考えて 仕事をしているのか。熱い思い、怒り、悩み、夢・・・聴きたい。聴きたい。

道具をマイクに持ち替えて、今日は大いに語って下さい。



# 大会プログラム

第1日目	集合時間／10:00	集合場所／魚橋呉服店 前	
	10:00	～ 12:00	エクスカーション① 野里町家見学
	12:00	～ 13:00	参加受付 姫路文学館講堂及び望景亭
	13:00	～ 13:45	作全協総会
	14:00	～ 15:30	シンポジウム
			移動：(1)バス (2)(3)徒歩
	16:30	～ 18:00	分科会テーマ(1) 職人さん大集合！ (野里:魚橋本家・魚橋呉服店)
			分科会テーマ(2) 隣と仲良くする方法！ (龍野町:初井家)
			分科会テーマ(3) 伝統木造で造ろう！ (材木町:しょうあん)
			移動：バス
	19:00	～ 21:00	懇親会 灘菊 西蔵
	21:30	～	二次会
第2日目	8:30	～ 9:00	報告会・閉会式受付 兵庫県立大学新在家講堂
	9:00	～ 10:00	報告会
	10:00	～ 10:30	閉会式
	10:40	～ 16:30	エクスカーション② たつの市室津コース 姫路市網干コース



姫路文学館



望景亭



兵庫県立大学 新在家講堂  
(旧制姫路高等学校講堂)

分科会 （第1日目 16:30～18:00）

## 分科会テーマ（１） 職人さん大集合!!!

---

野里地区で再生中の町家をネタに、職人さんたちに自らの技と匠をぶつけ合ってもらおうというのがこの分科会。棟梁、大工、左官、瓦屋さん、建具屋さん。古い町家を現代によみがえらせるために、どんなアイデアが飛び出すでしょうか。

ぶっつけ本番のバトル。見る者には興味津々です。しかし、まとめるのは大変やろねえ。

## 分科会テーマ（２） 隣と仲良くする方法!!!

---

町家はまちなかで成立した住文化です。お互いの屋根は重ね合いながら、庇をそろえていい家並みを形成していました。かつては両隣とどう関わっていくかというのが、重要な要件だったはずです。しかし、今どきは隣のことは考えもしないのが普通で、家並みの継承など思いもよりません。せつかく守られた町家や古民家がポツンと取り残されていくのを、時代の流れと諦めていいのでしょうか。

同じような思いをしている町家所有者は少なくないはずです。時代と、隣と上手に付き合いながら、いい家並みを残していく知恵を考えたいと思います。

## 分科会テーマ（３） 伝統木造で造ろう!!!

---

日本の気候風土には木造の住まいが適しています。中でも伝統木構造が優れていることは、多くの人が認めるところです。しかし、明治以降の近代主義や全国一律の法律や基準で、その良さを活かした改修が認められないことが多々あります。まして、伝統木構造による新築には幾多の難関が待ち受け、躊躇させられるのが現状です。

伝統的な技術の継承が途絶えてしまわないように、伝統木造を活かした改修、さらに新築に取り組むために、今必要なことは何か考えましょう。

## 分科会 会場紹介

テーマ(1)：職人さん大集合！

会場：**魚橋家**(姫路市威徳寺町)

魚橋家は野里街道沿いの威徳寺町にあり、国登録有形文化財となっている建物です。野里街道を挟んで西側に本家である当家が、東側に新宅(分家)である魚橋呉服店が建てられています。本家の敷地内には、明治33年(1900年)に建築された主屋や、離れ座敷、内蔵と外蔵の2つの土蔵造りの建物があります。

姫路・町家再生塾では、落語会などの催し物を開く際によく利用させていただいております。



テーマ(2)：隣と仲良くする方法！

会場：**初井家**(姫路市龍野町)

姫路城の南西部、旧西国街道沿いに建つ当家は、間口4間の主屋と約5間の座敷棟が連なっています。主屋の建築年代は江戸末期の弘化元年(1844)です。座敷棟は大正期の増築ですが、一部望楼状の3階を設けるなど、各所に趣向が凝らされています。同様に洗練された庭が築かれ、面して茶室と土蔵が残っています。もとは金融業を営まれており、また、歌人・初井しづ枝が住んだ家でもあります。



テーマ(3)：伝統木造で造ろう！

会場：**しょうあん**(姫路市材木町)

明治時代に建てられた町家です。現在は、1階を主に兵庫県立大学の学生らが運営するカフェとして、2階をグラフィックデザイナーのオフィスとして利用されています。

当初からの町家の趣を残しつつ、現代のライフスタイルにも対応できるよう、建物に若干手が加えられています。





## エクスカーション① 見学先紹介

(第1日目 10:00~12:00)

会場：**塩本家**(姫路市大野町)

野里街道沿いに明治13年に建築された、木造2階建て・平入りの町家。

今年秋からの改修工事の着手を予定しています。今大会では皆様に、その改修途中の現場を見学していただく予定です。



## エクスカーション② 見学先紹介

(第2日目 10:40~16:30)

### (1) たつの市室津コース

室津の港は摂播五泊のひとつで、古くから良港とされてきました。最も賑わうのは江戸時代からで、西国大名の多くが参勤交代のおりの上陸地点としてここを選んだため、宿駅としての機能を持ちました。

室津の町は、海から屋敷ひとつを置いて内側に大通りがあり、この通りに沿って主だった家が建ち並び、通りの裏や七曲がりの道からの坂の北側にも民家が密集して建てられています。近年、大通り周辺の建て替えが進行しつつありますが、坂下の一带は港町特有の賑わいを残しています。



### (2) 姫路市網干コース

網干は姫路市の南西部を占める一帯で、揖保川の下流端に位置します。瀬戸内海に面した網干は、中世には海運の中心地として栄えました。古い町並が、余子浜・興浜・新在家といった町の所々で展開し、平入りの中2階建て、虫籠窓を備えた商家の建物が多く連なっています。

興浜には丸亀藩の網干陣屋跡があり、当時の門が復元されて残っており、この辺りに漆喰塗り込め中2階建ての商家の建物が多く残り、網干を代表する古い町並の景観を保っています。

